

令和元年度第1回東成区区政会議（全体会議）

1 開催日時 令和元年6月18日（水） 19時00分から20時44分まで

2 開催場所 東成区民センター2階 大ホール

3 出席者の氏名

【委員】

米原 俊夫（議長）、羽鹿 誠一（副議長）、石川 洋志、石塚 克哉、井上 吉史、大谷 慶子、岡倉 三郎、下村 直美、末光 京子、田中 良和、茶谷 儀夫、東方 宏祐、徳永 政喜、永門 武志、林 正則、福永 美和子、藤溪 達夫、本間 良文、松田 好行、三枝 直美、森井 フミ子、山口 晴康、吉谷 忠之、吉本 紀美子

【市会議員】

川嶋 広稔、岡崎 太、海老沢 由紀

【東成区役所】

麻野 篤（東成区長）、萩 純一郎（東成区副区長）、平田 忠弘（総務課長）、奥本 秀樹（総合企画担当課長）、大野 聡（市民協働課長）、井上 徳久（まちづくり・教育支援担当課長）、西山 明子（保健福祉課長）、八木 康裕（児童・保健担当課長）、後藤 美里（総合企画担当課長代理）、植田 浩史（市民協働課長代理）、藤原 吉生（まちづくり・にぎわい創造担当課長代理）、松穂 好純（まちづくり・教育支援担当課長代理）、世古 美弥子（保健福祉課長代理）、岸野 伸浩（児童・保健担当課長代理）、太田 全昭（市民協働課担当係長）、東本 國博（市民協働課担当係長）、芝田 博美（保健福祉課担当係長）、細山 博文（保健福祉課担当係長）、石野 靖子（保健福祉課担当係長）大川 真吾（保健

福祉課担当係長)、合田 恵子 (保健福祉課担当係長)

4 委員に意見を求めた事項

平成30年度東成区運営方針の振り返りについて

5 議事内容 (発言者氏名及び個々の発言内容)

【大藪係長】 皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、東成区区政会議にご出席を賜りまして、ありがとうございます。ただ今から、令和元年度第1回東成区区政会議を開催いたします。私は東成区役所総務課総合企画担当の大藪でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず冒頭に区長の麻野よりご挨拶させていただきます。

【麻野区長】 皆さん、こんばんは。東成区長の麻野でございます。よろしくお願いいたします。本日はたくさんの皆様のご参加、本当にありがとうございます。また、皆様方におかれましては市政、区政の各般に当たりまして、格別なご配慮、ご支援賜っておりまして、ありがとうございます。私も3年目に入りました。無事丸2年過ごせましたのも皆様方のご支援、ご指導の賜物と思います。本当にありがとうございます。引き続きよろしくお願いしたいと思います。

今日は令和元年度の第1回の区政会議となります。令和元年度の第1回なんですけれども、内容的には昨年度の事業内容の振り返りという形になります。よろしくご議論いただけたらと思います。

今は挨拶の時間なんですけれども、業務的なお話をさせていただきたいと思います。一昨日の日曜日に吹田市の方で警察官が襲撃されて拳銃が奪われるという事件がございました。警察官の方は重体で一日も早い回復をお祈りしております。市の対応ですけれども、市の方では朝8時前に大阪市の局長ですとか区長、所属長、市長、危機管理監で、業務用のLINEのネットワークがつくられていまして、それで朝たたき起こさ

れて連絡が来ました。その後、市長も危機管理監も直接LINEで指示をあるいは指導をしてくるんです。本当に早い段階で市の幹部、局長、所属長全員が情報共有できるという体制になっておりました。今回は局所的なというか、北部の方での事件でしたので東成の方ではそんなに影響はないという形で推移しておったんですけれども、淀川区、東淀川区、西淀川区のあたりは地域活動も全部やめてもらうとか、あるいは学校の問題はどうするんだというようなことも議論されました。市長から直接、教育長に連絡が行き、教育長から我々の方に直接連絡が来るという形で、非常に迅速に情報交換ができたと思います。

去年の今日なんですけれども、北部地震がありました。去年はその後に台風もありました。それを受けて市の方でも危機管理体制を強化しなければいけないということで、急遽、LINEさんと一緒になって作り上げたものでございまして、去年の暮れにできまして、今年の初めかな、実際に立ち上がったのは。2回ぐらい訓練をやったんですけれども、今回初めて実際の事案で使ったというところで、まだ慣れていないところもあって行ったり来たりみたいなこともあったんですけれども、非常に早く正確に情報が伝わるなということがわかりました。テクノロジーが課題を解決するという一つの例だなというふうに思いました。

他方で、区役所から区民の皆さんへどうやって情報伝達するかも課題になっておりました。昨年と同じような地震、台風の時になかなか皆さん方に情報を的確に適時にお伝えすることは難しいということがございました。

前回、区政会議でお話しさせてもらったかと思うんですけれども、皆さんがもっているLINEを使って皆様方に防災あるいは緊急の情報をお伝えする防災LINE、通称うりちゃん防災LINEと言ってますけれども、これを作りました。今回も何回か情報を流させていただいた次第であります。さっき聞いたら900人ぐらい登録していただいているみたいです。夏になって台風シーズンがやってまいりますので、ぜひうりちゃん防災LINEに入ってください、周りの方にもお薦めいただいたらありがたいなと思いま

す。東成区防災LINEってグーグルでひくと、うりちゃん防災LINEでは出てこないと思うんです、東成区防災LINEです。グーグルを検索していただくと出てきますので、ぜひ、ご登録をお願いしたいなと思っております。

防災以外にもいろんな事業をきちっとやってまいっておりますので、皆様方に活発なご議論をお願いしたいと思っておるところでございます。活発な議論になることを改めてお願いしまして、ご挨拶とさせていただきたいと思います。どうもありがとうございます。

【大藪係長】 本日の区政会議の開催状況でございますが、委員43名中22名の委員のご出席をいただいております。したがいまして、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例第7条第5項によりまして本会議が有効に成立している旨、ご報告申し上げます。

続きまして資料の確認をさせていただきます。まず事前にお送りしています資料についてです。ご一緒にご確認の方お願いいたします。まず次第です。次に資料1として平成30年度東成区運営方針市様式、資料2として平成30年度東成区運営方針課題別取組実施状況、資料3として区政会議における意見への対応状況、資料4として平成30年度東成区区政会議委員評価シート、そして質問・意見票、参考資料として区政会議委員名簿でございます。次に、机上に配付している資料ですが、参考資料として今年度事業実施のポイント、東成区主催・共催イベントカレンダー、その下には東成区のイベント等のチラシなどと封筒を置かせていただいております。先ほど申し上げました資料4の評価シートにつきましては、本日の区政会議終了後に皆さんに書いていただきまして、ご提出いただくことになっております。最後にお時間をとりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。資料は以上でございます。資料の不足はございませんでしょうか。

ないようですので進めさせていただきます。続きまして、会議の進行に当たりましての注意事項を申し上げます。まず、当区政会議は条例より公開することとなっております。

りますのでご了承をお願いします。また、区役所で区政会議の記録を残しておくため、広報担当者を決めております。担当者によります会議中の撮影につきましては、ご理解いただきたいと存じます。本日の会議内容は、後日、議事録を公開する予定でございます。

最後に、会場にお越しの皆様をお願い申し上げます。携帯電話、スマートフォンは電源をお切りいただくかマナーモードにさせていただきますようお願いいたします。また、会場内での通話をご遠慮いただきますよう合わせてお願いいたします。

それでは、以降の進行を議長をお願いいたしたいと思います。では、米原議長、羽鹿副議長、中央のお席にお座りください。

【米原議長】 皆さん、こんばんは。米原でございます。どうかよろしくをお願いいたします。議事進行に当たりましては、限られた時間ということもございますので、皆様方のご協力をいただきながら円滑に進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。ご発言される際には挙手でその意思を表明していただいた上で、僭越ながら私の方で指名させていただきますので、まず、お名前をお伝えいただいて、それから意見というルールでお願いいたします。

それでは、令和元年度第1回東成区区政会議の議事に入ります。本日の議題は、平成30年度東成区運営方針の振り返りについてとなっております。それでは、区役所より説明をお願いいたします。

【麻野区長】 また私ですが、改めまして、よろしくお願いします。平成30年度の振り返りということでご議論いただきたいと思っておりますけれども、平成30年度の運営方針の4本柱ですけれども、安心・安全、教育・子育て、福祉・健康それからまち魅力、今年度も書いていないんですけれども、この4本柱でやらせていただいております。前回もこの場で申し上げたと思うんですけれども、東成は持続可能なまちづくりSDGsをめざしますということで頑張っております。前回もSDGsっていうのはわかりにくいというふうにご批判をいただきましたが、一言で言うと「持続可能なま

ちづくり」だということで覚えていただけたらいいというふうに思います。こういった形で福祉・健康ですとか教育ですとかまちづくり、3R、リユース・リデュース・リサイクル、環境問題です。あるいはパートナーシップ、こういった我々が普段やっている4つの目標と一致するようなものがSDGsだと。それに持続可能なという言葉が付いていますので、ここがポイントになるかなと思っています。万博の目標にもなっていますということでお話をさせてもらったかと思っています。

今日は振り返りですので、振り返りに当たってこういう視点で見ていただけたらいいなというところをお話させてもらいたいと思いますけれども、持続可能なまちづくりという意味では、事業がコミュニティの持続的な発展に寄与しているのか、役立っているのかというところ。そもそもその取組み自体が続けていけるのかというところもポイントになるかと思っています。

それから、大阪市ではPDCAサイクル、要は毎年きちんと事業を振り返って、反省というか去年のよかったところ悪かったところをもう一回見直して次の年の事業の改善につなげていっていますかというようなことをちゃんとやっているか、毎年毎年同じことを十年一日のごとく続けているんじゃなくて、きちんと改良、改善していっているのかなというところを見ていただけたらいいかなと思っています。

最後に変化への対応。東成区もどんどん変わってきております。人口も増えておりますし、特にワンルームマンションが増えておりまして若い人がどんどん入ってきております。それから外国人、ベトナム人ですとかフィリピン人、インドネシア人といったところの方々が、観光客ではなくて実際にお住まいになって、いろんな企業さんで働いたりとか、あるいは生野区、あるいは城東区、あるいは中央区の方へ働きに行かれていたりとかもございます。そういった変化に対応できているのか、要は役所の方もいつもと同じようなことをやっているんじゃなくて周りの状況、ニーズを見ながら対応していっているのかといったところを検討の視点として持っていただけたらなというふうに思っているところでございます。今日は活発な議論をお願いしたいと思

っております。よろしくお願いいたします。

【米原議長】 どうもありがとうございました。ただ今、麻野区長より説明がございました。それでは各部会において、今後の取組み方針について区役所から説明を受けた後、皆様でご議論いただきたいと思います。これから全体会議を一時休会し、部会に移ります。部会は19時20分から20時10分までの50分間を予定しております。各部会の議長、副議長をお願いしたいと思いますが、前半は勉強会としまして、後半は10分間で意見集約をお願いします。部会終了後に全体会議を再開し、各部会から報告していただきます。それではここで全体会議を一時休会とし、進行を事務局に一旦お返しします。

【大藪係長】 それでは部会の会場移動のご案内をさせていただきます。にぎわい・きずな部会の皆様は6階601集会室へ。子ども・教育部会の皆様は6階602集会室に移動となります。机上札と資料、貴重品をお持ちいただいて、移動をお願いいたします。

<各部会に分かれて進行>

※各部会議事録を参照

【大藪係長】 それでは時間となりましたので、全体会を再開したいと思います。米原議長と羽鹿副議長、前の座席にお戻りください。

それでは以降の進行を議長にお渡しします。よろしくお願いいたします。

【米原議長】 皆様、熱心なご意見交換をしていただきましてありがとうございました。ただいまより全体会を再開します。それでは先ほどの部会において話し合った内容を各部会議長からご報告をお願いいたします。まずは、にぎわい・きずな部会の藤溪議長、よろしくお願いいたします。

【藤溪部会議長】 にぎわい・きずな部会の方ですが、資料の順番に従って簡潔にご報告申し上げます。まず資料2の1ページです。防災に関してですが、非常時のスピ

ーカーの環境が悪いのか、音量がどうなのか、聞き取りにくいという意見がありました。それと災害時の学校の休校、学校が休みなのかどうかというのを一体どういう形でニュースを得たらいいのかというようなことも出ておりました。それから青パトです。安全パトロールの車から発せられている音量が小さくて聞き取りにくい。確かに近所迷惑という抗議もあろうかと思うんですけれども、やはり聞き取れる音量にされたらどうかという要望が出ていました。

それから、小学校の避難所も初めて昨年経験されたと思うんですけれども、その時にほとんどの避難所で準備ができていなくて困られたという報告があったんです。私どもの地域の学校でも40名ぐらい来られたんですけれども、ゼロに近い状況であったので対応ができなかったということから、できれば、家庭から災害時に持ち出す非常物品についてはいろんな形で周知されているんですが、避難所の備蓄せんといかんという優先順位のようなものがあれば、ベストテンぐらい区役所の方から提供いただけないかという要望もありました。

それから、まちづくりの方ですけれども、8ページの方ですけれども、企業と地域、学校との連携の取組み。近々ですけれども、日曜日にソケット、こういったものを開会されることで、できれば皆さんも梅田の方でするので足を運んでいただけたらということです。こういった取組みを今後も積極的に取り組んでいかれるということなんです。

それから、11ページの課題に向かった取組み。11連合中8連合が取り組んでおられるんですが、こういった取組まれている状況が広報等で知らせていただけないかということが出てきました。

それから、10ページですけれども、モノづくり体験フェスタですが、親子対象ではあるんですけれども、非常にいい取組みではあるので、今後継続できたらということで、参加者も昨年に比べたらさらに100名増えているということで、いい取組みなので続けていってもらったらという要望も出ておりました。あとは防犯カメラもたく

さん付けていただいているんですが、犯罪防止の抑止力になっているんじゃないかということで、今後も継続して設置して欲しいというのも出ておりました。以上です。

(拍手)

【米原議長】 ありがとうございます。次に子ども・教育部会、田中議長、よろしくお願いいたします。

【田中部会議長】 子ども・教育部会です。いろいろ意見を出していただいたんですが、けれども、まず、我々が前回要求していた資料等を今回またそろえていただいております。非常に喜んでいます。意見を出させていただいてよかったなと思っております。また、子育て支援の分でも、いろんなところへもっとアピールしたらどうか、店舗数を増やしてというような意見を言わせていただきましたら、それが現実になっておるということで、参加してよかったなと思っております。

本日は最後ということでいろいろ出していただいたんですが、一つは外国人の転入で住居、教育、コミュニティー等、様々な課題が抽出はされたんですが、はっきり言いまして現実がわかっておりません。東成区のホームページでは外国人がどこの国の人が何人、どこの国の人が何人というのはわかっておるんですが、その中の小学生が何人おるとか、中学生が何人、幼稚園が何人おるというのは出ておりません。もしわかればお教えいただきたいということなんですけれども、個人情報とか国籍とか、いろいろ難しいとは思いますので、できる範囲でよろしく願いしたいと思います。

それから、東成区というところは昔から高校がないところでございます。「高校を作れ」じゃなしに、将来的に若者が集まれて区民も参加できるコミュニケーションの場を提供できるような、サテライトのような教育施設を作っただけないだろうかと。場所はどこだということではございませんけれども、みんなの集まれるところを作っただけであればありがたいなと思っております。

それと、プログラミングというので小学生がロボットを作ったりいろいろプログ

ラムを作る。そこに講師として。夏休みにされるらしいんですけども、我々でははっきり言ってできません、子どもはやれば勝手に座ってやっております。それを学校で、教育が2020年から始まりますので、その手助けという形で夏休みに5回か6回やられるということです。先生の方は教育委員会の方でしっかり勉強してきてもらえばいいかなと思います。子ども・教育部会は以上でございます。ありがとうございました。

(拍手)

【米原議長】 ありがとうございました。最後に保健福祉部会、石塚議長よろしくお願いいたします。

【石塚部会議長】 私どもの部会では三つほどまとめて出ております。まず、6ページのおまもりネットについてですけども、普及に向けて半強制とまではいかなくても積極的な介入というか、積極的にもっともっと伝えていった方がいいんじゃないかと。ただ、数だけを多くしても後のメンテナンスというんですか、情報が陳腐化してはいかんで、そこもしっかりとフォローして行くんですけども、それをサポーターさんとかの負担が大きいのでそれをどうしていくか。そういう意見が出てます。これは先のくらいになっております。

それから次に、アンケートが65%以上の目標が、区が実施している健康づくりに関する取組みについて興味を持つ者の割合が65%以上が58%しか達成していない。高齢者70歳以上の人は71%、これが高いという表現はしてくれていましたけれども、まだ30%の人が実績として認めていないということで、比較的若い世代の人にどういうふうにこういうふうなものを伝えていくかということで、いろんなご意見出ています。実際、この中にも若い世代の方がいらっしゃって、何度も何度も目にすることによって意識づくんですと。ただ、仕事をしているのでなかなか出席できない。それでもチャンスがあれば出席したいと思っているというふうなご意見もございまして、そういう人たちにどういうふうにアプローチして行くのか、PRしていくのかも一つの課題

ということになってます。そして地域との、男性が地域との関係が希薄なんで、そのつながりをどういうふうに構築していったらいいのか。意見の中では将棋とか、子どもたちと一緒に楽しんでいる地域もあるみたいで、そこらへんが突破口になるんじゃないかというふうなご意見がありました。

それと、もう一つは百歳体操で、18会場21グループでやってて、これからほかの区でもやってます、銭湯とかを利用した会場を利用してやるのも一つの方法で頑張ってますというふうな説明があったんですけども、ただ、あくまでも住民主体でと言って少し突き放されているような感じを委員さんがもっていて、施設なんかでやる場合には住民主体ではなくて施設の事業等に直結するんじゃないかというふうな懸念も役所の中から言われていました。ですから、もっともっと型どおりでない柔軟な役所の対応を望みますと。その中で地域の人頑張ってる、地域の人が多ければそこは応援してください。あと、大阪市が積極的に進めるのであれば、保険等も少し考えていただきたいと、そんな意見が出てました。以上です。

(拍手)

【米原議長】 ありがとうございます。皆さん、ただいま一通り各部会からの報告を聞いていただきましたでしょうか。他に追加のご意見や質問などはございませんでしょうか。

本日は、各部会の意見を聞かせていただくことで広く区政の現状と課題、それに対する委員の皆様の思いがしっかりと伝わったのではないかと思います。本当にありがとうございました。羽鹿副議長、何か一言ございませんでしょうか。

【羽鹿副議長】 皆さん、今日はお忙しい中、ご苦労さまでございました。各部会におきまして活発なご議論をいただいたことと思いますが、ご意見等を役所の方でも区政の方でも反映していただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

【米原議長】 それでは、閉会の時間となりましたので、本日の区政会議を終了させていただきます。本日出されました意見について、区役所の方でもしっかりと検討し

区政に反映していただき、東成区をよりよい方向に進めていきたいと思っております。
それでは、進行を区役所にお返しします。円滑な議事運営にご協力いただきまして、
ありがとうございました

【大藪係長】 それでは、区長の麻野より閉会に当たりまして、ご挨拶をさせていただきます。

【麻野区長】 改めまして、麻野です。今日は本当にお忙しいところお越しいただきまして、長い時間ご議論ありがとうございました。少しずつですけれども聞かせていただきまして、いい意見を聞けたなと思っております。ただ、もっと皆様のご意見をお聞きしたいところではあります。8月の終わりごろに井戸端会議ということで勉強会を開催いたしますので、ぜひ皆様方、こちらの方にもご参加いただきたいと思いますと思っております。今回のいただいたご意見は区政運営に活かしてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。事務連絡的なんですけれども、区政会議におられます皆様方、今年の9月で2年の任期が一応切れるということになっております。次回の委員改選につきましては各団体さんの方に推薦のご依頼をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いしたいと思います。それから2期4年というのが最大となっておりますけれども、2期4年、お引き受けいただいた方につきましては、ご退任という形になります。引き続き、区政運営におきましてご支援、ご指導いただきたいと思います。本日は本当にありがとうございました。引き続き、皆様方のご指導、ご鞭撻を賜りながら頑張ってまいりたいと思っております。今日は本当にありがとうございました。

(拍手)

【大藪係長】 これをもちまして、令和元年度第1回東成区区政会議を終了いたします。本日は誠に疲れさまでございました。出口の方で資料4の評価シートの回収をさせていただくものを用意しています。また、お席に置いていただいても結構ですので、ご提出の方、よろしくお願いいたします。